

# 事務事業点検・評価報告書

(令和3年度事業分)

相生市教育委員会

— 目 次 —

|   |                       |    |
|---|-----------------------|----|
| 1 | はじめに                  | 1  |
| 2 | 事務事業評価について            | 2  |
| 3 | 令和3年度 教育委員会事務事業評価結果一覧 | 6  |
| 4 | 第三者評価対象事業             | 12 |

## 1 はじめに

### (1) 点検・評価について

教育委員会における事務事業の点検・評価については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

このため、相生市教育委員会では、法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすため、令和3年度における本市の教育に関する事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い報告書としてまとめました。

### (2) 実施方法について

事務事業の点検・評価は、相生市が毎年実施している行政評価システム（市長部局で実施している事務事業を対象とした評価システム）を活用しています。

### (3) 点検・評価方法について

教育委員会が実施した事務事業の点検・評価の方法は、事後評価とし、各事業に対する住民等のニーズからその事業実施後の結果・成果を総合評価したうえで、更にその事業の今後の方向性の評価を行います。

結果については数値化し、今後の方向性について、具体的な方針を示しています。

### (4) 第三者評価について

相生市行政評価システムにおいて、その評価の客観性及び信頼性を一層高めるため、教育に関し学識経験を有する者を含む外部委員による専門的な観点からの意見及びサービスの受け手としての市民からの意見等を提言することを目的に、第三者評価を実施しています。

なお、事務事業の全てが第三者評価の対象ではなく、第三者評価委員会より指定された事業を評価するものとしています。

このため、教育委員会の事務事業についても、第三者評価の対象として指定されています。

## 2 事務事業評価について

### (1) 事業の種類

事務事業を効率的かつ効果的に評価を行うため、事業を次の6種類に分類し、そのうち2分類を評価の対象としています。

| 事業の種類 |                | 定義  | 評価対象 |
|-------|----------------|---|------|
| 1     | 法定受託業務         | 法令等により国や他の地方公共団体に代わって処理する業務                   | 対象外  |
| 2     | 内部管理業務         | 直接的な市民サービスの提供を伴わない本市内の行政運営を管理する業務（事務経費、人件費等）  | 対象外  |
| 3     | ソフト事業（義務）      | 上記及び施設関連事業を除く事業のうち、法令等により地方自治体として実施を義務付けられた事業 | 対象外  |
| 1 1   | ソフト事業          | 施設等の整備を除く事業のうち、本市が自主的に実施する事業（施設等管理運営事業は含む）    | 対象   |
| 1 2   | 施設等整備事業（ハード事業） | 道路、公園、市民が利用する施設・情報システムなどの整備事業（維持修繕は含まない）      | 対象   |
| 2 1   | 施設等維持修繕事業      | 道路、公園、市民が利用する施設・情報システムなどの維持修繕のみを行う事業          | 対象外  |

### (2) 評価項目

事務事業の総合評価は、【妥当性評価】【有効性評価】【効率性評価】【改革・改善プラン達成度評価】【透明性評価】の5つの観点による評価結果を点数換算し、その合計点によってA～Dの4段階で評価します。

それぞれの観点によって重みづけが異なり、妥当性評価と有効性評価は3倍（30点満点）、効率性評価は2倍（20点満点）、改革・改善プラン達成度評価と透明性評価は1倍（10点満点）で総合評価点を算出します。

#### 【総合評価】

| 点数   | 100～ | 80～ | 60～ | 40～ |
|------|------|-----|-----|-----|
| 総合評価 | A    | B   | C   | D   |

【項目評価】

| 評価項目          | 評価観点   | 評価軸   |
|---------------|--|---|
| 【妥当性】         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の目的は、社会情勢や市民のニーズに適合しているか</li> <li>・ 市の負担や補助の割合は適切であるか、また、官民の役割分担として市が関与すべきか</li> <li>・ 今、実施することが適切であるか、また、他に優先すべき事業はないか</li> </ul>                        | <p>A：妥当性が高い<br/>B：比較的妥当である<br/>C：妥当性が低い<br/>D：妥当でない</p>                   |
| 【有効性】         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の成果は、社会情勢や市民のニーズに適合しているか</li> <li>・ 成果は到達目標に向けて向上しているか</li> <li>・ 上位の施策に対し、貢献できているか</li> </ul>  | <p>A：有効性が高い<br/>B：比較的有效である<br/>C：有効性が低い<br/>D：有効でない</p>                   |
| 【効率性】         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業コストの節減が行えているか</li> <li>・ 実施する手段は最適であるか（民間活用等の見直しの必要はないか）</li> <li>・ コストの負担割合、補助の対象範囲は適切であるか</li> <li>・ 執行体制や執行方法は効果的か（もっと簡素化する見直しの必要はないか）</li> </ul>      | <p>A：効率性が高い<br/>B：比較的効率的である<br/>C：効率性が低い<br/>D：効率的でない</p>                 |
| 【改革・改善プラン達成度】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民サービス向上の改革・改善効果が見られたか、また、サービスの質的な向上の改革・改善効果が見られたか</li> <li>・ 組織運営上または施設管理上の改革・改善効果が見られたか</li> <li>・ 関係法令等が意図する状態に合致する改革・改善効果が見られたか</li> </ul>              | <p>A：改革・改善効果が高い<br/>B：比較的改革・改善効果がある<br/>C：改革・改善効果が低い<br/>D：改革・改善効果がない</p> |
| 【透明性】         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民に積極的な情報公開、情報提供、PRを行っているか</li> <li>・ コミュニティ組織育成の視点で人材や組織の育成や啓発に努めているか</li> <li>・ 人権、男女共同参画、国際平和と国際交流、地球環境、文化的まちづくり、次世代育成や産業振興のいずれかの視点で事業実施しているか</li> </ul> | <p>A：透明性が高い<br/>B：比較的透明性を確保している<br/>C：透明性が低い<br/>D：不透明である</p>             |

### (3) 事務事業の方向性評価

事務事業の方向性評価では、基本特性区分等の基本情報、活動指標による評価、コスト指標による評価、総合評価（妥当性、有効性、効率性、改革・改善プラン達成度、透明性）の結果を踏まえ、各事業の次年度の方向性を評価します。

| 評価項目    | 評価軸  |
|---------|--|
| 【方向性評価】 | A：拡大<br>B：現状のまま継続<br>C：改善・見直しの上で継続<br>D：縮小<br>E：廃止<br>F：期限到来に伴う終了<br>G：その他（保留・再検討） |

### (4) 評価指標

事務事業の評価指標は「活動指標」と「コスト指標」の2種類とし、活動指標は「その事業が正しい方向を向いて活動できているか。」をみる【質】をはかる指標と「その事業が適切に活動できているのか。」をみる【量】をはかる指標を設定し、評価を行います。

|                          |                  |
|--------------------------|------------------|
| 事業費（フルコスト）÷<br>計画値または実績値 | 単位当たりの経費を算出する方法  |
| 計画値または実績値÷<br>事業費（フルコスト） | 千円あたりの活動量を算出する方法 |

### (5) 第三者評価

#### ア 評価対象

ヒアリングの対象は、担当課において課題があると自己評価を行っている事業から下記の事業が第三者評価の対象となりました。

#### ◎令和4年度第三者評価対象事業

| 事務事業名    | 課名         |
|----------|------------|
| 文化振興事業   | 教育委員会生涯学習課 |
| スポーツ教室事業 | 教育委員会体育振興課 |

## イ 評価観点

施策から見た場合の評価及び事務事業単体としての評価の2つの視点において、各事務事業の評価を行いました。

### (ア) 構成事務事業の事後総合評価（施策からみた評価）

施策目標の達成のために、それぞれの事業がどれほど貢献しているか、また、同一施策内の構成事務事業と相対的に比較した場合の優先度はどうかを評価します。

### (イ) 事務事業の方向性評価（事業単体の評価）

事務事業単体として、どれくらいの成果がでているかを事業目的・指標に注視しながら評価します。評価観点は以下の項目となります。

#### ①事業目的・指標について

- ・事業の目的が第6次総合計画の基本方針に沿って設定されているか
- ・目的の進捗、成果を確認するための指標が適切であるか

#### ②妥当性について

- ・事業の目的は、社会情勢や市民のニーズに適合しているか
- ・市の負担や補助の割合は適切であるか、また、官民の役割分担として市が関与すべきか
- ・今、実施することが適切であるか、また、他に優先すべき事業はないか

#### ③有効性について

- ・事業の成果は、社会情勢や市民のニーズに適合しているか
- ・成果は到達目標に向けて向上しているか
- ・上位の施策に対し、貢献できているか

#### ④効率性について

- ・事業コストの節減が行えているか
- ・実施する手段は最適であるか（民間活用等の見直しの必要はないか）
- ・コストの負担割合、補助の対象範囲は適切であるか
- ・執行体制や執行方法は効果的か（もっと簡素化する見直しの必要はないか）

#### ⑤改革・改善プラン達成度について

- ・市民サービス向上の改革・改善効果が見られたか、また、サービスの質的な向上の改革・改善効果が見られたか
- ・組織運営上または施設管理上の改革・改善効果が見られたか
- ・関係法令等が意図する状態に合致する改革・改善効果が見られたか

#### ⑥透明性について

- ・市民に積極的な情報公開、情報提供、PRを行っているか
- ・コミュニティ組織育成の視点で人材や組織の育成や啓発に努めているか
- ・人権、男女共同参画、国際平和と国際交流、地域環境、文化的まちづくり、次世代育成や産業振興のいずれかの視点で事業実施しているか

3 令和3年度 教育委員会事務事業評価結果一覧

1 未来を担う人と文化を育むまち

(1) 輝く子どもを育むまちづくり

| 基本施策     | 取り組み事項         | 事務事業名        | 担当課名      | 令和3年度      |            |            | 評価項目       |     |     |       |     | 総合 | 施策からみた評価  |   | 事業単独でみた評価   |  |
|----------|----------------|--------------|-----------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-------|-----|----|---|---|---|--|
|          |                |              |           | 人件費        | 事業費        | 支出合計       | 妥当性        | 有効性 | 効率性 | 改革・改善 | 透明性 |    | 方向性   | 所見  | 方向性   | 所見   |
| 学びの環境の充実 | 教育の機会均等を確保する   | 相生市奨学金事業     | 管理課       | 814,386    | 735,000    | 1,549,386  | A          | A   | B   | B     | B   | A  | B   | 誰もが等しく学べる機会を確保するため、引き続き実施する。  | B   | 修学意欲と能力があるにも関わらず経済的理由により修学が困難な子どもに対して、教育の機会均等を確保するために継続していく。 |
|          |                | 小学校通学費補助事業   | 管理課       | 515,778    | 310,190    | 825,968    | A          | A   | B   | B     | A   | A  | B   | 誰もが等しく学べる機会を確保するため、引き続き実施する。  | B   | 適応教室通学者も対象としており、現状を維持することが最適である。                             |
|          |                | 中学校通学費補助関係事業 | 管理課       | 407,193    | 120,000    | 527,193    | A          | A   | B   | B     | A   | A  | B   | 誰もが等しく学べる機会を確保するため、引き続き実施する。  | B   | 適応教室通学者も対象としており、現状を維持することが最適である。                             |
|          | 子どもの育成環境の充実を図る | 預かり保育事業      | 管理課       | 10,950,025 | 504,440    | 11,454,465 | A          | A   | B   | B     | A   | A  | B   | 教育と子育ての両面において引き続き支援し、子どもたちを守り育てるまちづくりにつなげる。   | B   | 多様化する保護者ニーズの把握に努め、事業改善のポイントについて研究しながら事業を継続していく。              |
|          |                |              | 放課後児童保育事業 | 生涯学習課      | 29,144,494 | 17,431,136 | 46,575,630 | A   | A   | B     | C   | B  | A   | A   | 共働き家庭などの増加に伴い、放課後保育事業に対してのニーズは増加している。保護者が安心して働きながら、子育てと仕事の両立が図れるよう、学校と連携して現在の受け入れ体制を今後も続け、放課後保育サービスの充実を図っていく。 | B  |
|          |                | 学校支援地域本部事業   | 生涯学習課     | 1,145,912  | 222,800    | 1,368,712  | A          | A   | A   | B     | B   | A  | C   | 学校の教育活動や学校の環境整備など、地域人材の重要性が高まっている。地域と学校が連携していくために、綿密な打ち合わせや日程調整等が課題となっているが、今後より必要になる。               | A   | 地域の子どもは地域で守り育てるという意識をもって、今後も事業の拡大をする必要があると思われる。              |
|          |                | 相生っ子学び塾事業    | 生涯学習課     | 2,959,109  | 1,747,474  | 4,706,583  | A          | A   | A   | A     | A   | A  | C   | コロナ禍において中止を余儀なくされ、参加児童の数が減ってしまった。児童のニーズに合った事業の実施と適切な講師の確保が課題であるが、誰もが等しく学べる機会の確保のため、今後も継続した取組が必要である。 | B   | 子どもの将来性をはぐむためにも事業を拡大する必要がある                                  |
|          | 青少年育成補助金事業     | 生涯学習課        | 271,462   | 155,000    | 426,462    | B          | B          | C   | B   | B     | B   | C  | 子ども会やPTA活動を支援するため、必要不可欠であるが、保護者の意識の変化など、課題に対応しながら事業を進めていく必要がある。 | B   | 子供に対する教育・健全育成は社会要請であり、必要不可欠である。   |  |



| 基本施策              | 取り組み事項         | 事務事業名         | 担当課名  | 令和3年度     |            |            | 評価項目 |     |     |       |     | 総合 | 施策からみた評価 |  | 事業単独でみた評価 |   |
|-------------------|----------------|---------------|-------|-----------|------------|------------|------|-----|-----|-------|-----|----|----------|--|-----------|---|
|                   |                |               |       | 人件費       | 事業費        | 支出合計       | 妥当性  | 有効性 | 効率性 | 改革・改善 | 透明性 |    | 方向性      | 所見   | 方向性       | 所見  |
| 学びの環境の充実          | 子どもの育成環境の充実を図る | 青少年育成事業       | 生涯学習課 | 2,231,761 | 620,000    | 2,851,761  | B    | B   | A   | B     | A   | A  | C        | コロナ禍によって、須崎市との交流を行うことができなかった。令和4年度は実施に向けて柔軟な対応をしていく。また、成人式において、成人になった自覚と責任を醸成し、同郷の仲間達と一緒に祝うことができた。今後は成人年齢の引き下げに伴い、これまでの成人式を見直しながら進めていく必要がある。 | B         | 子どもたちが、日常生活と違った文化を学習、「須崎市の生活や文化に触れる体験」をさせ、異文化交流を体験することで、自分達が育った郷土に対する理解と関心を深め、郷土を愛する心を育てることが期待できる。                                |
|                   |                | 放課後子ども教室推進事業  | 生涯学習課 | 2,938,581 | 705,720    | 3,644,301  | B    | B   | B   | B     | B   | A  | C        | 子どもの放課後対策として、安全で健やかな居場所作りを推進するとともに、遊びを通して、地域住民との交流活動となっている。今後より一層、地域と学校・公民館等が連携し、地域の教育力を活かした活動を進めていく。  | C         | 少子化や核家族化が進展し、子どもが世代を超えてふれあう機会が減少しているなど、地域社会での人間関係が希薄化しており、学校・家庭・地域のつながりの強化と教育力の向上は必要である。  |
| 知・徳・体の調和のとれた人材の育成 | 確かな学力を育成する     | 外国人英語指導助手招致事業 | 学校教育課 | 2,281,749 | 2,002,641  | 4,284,390  | A    | B   | B   | B     | B   | A  | B        | 生きた英語にふれることで、生徒の語学力やコミュニケーション能力を育成するとともに、異文化に対する理解を深め、英語力の向上が図れているため、継続して実施する。   | B         | 新型コロナウイルス感染症の影響により、ALTの配置が遅れた。ALTとコミュニケーションをとる中で、意欲的に英語を用い、異文化に対する理解を深めることで、学習意欲へつなげている。  |
|                   |                | ぐんぐん学力アップ事業   | 学校教育課 | 1,151,406 | 858,780    | 2,010,186  | A    | B   | B   | B     | B   | A  | B        | 児童生徒の学力を分析し、課題を把握することにより授業改善に活かし、学力向上につなげているため、継続して実施する。   | B         | 標準学力検査結果により把握した学力の状況把握、分析による効果的な学習計画を図ることで、効果があった。評価と指導の一体化のために本事業は必要不可欠である。  |
|                   |                | 英語教育推進事業      | 学校教育課 | 950,117   | 6,433,350  | 7,383,467  | B    | B   | B   | C     | B   | B  | B        | 幼児期から外国語に触れる機会を提供することで、英語に慣れ親しみ、コミュニケーション能力を育成するとともに、異文化に対する理解を深め、英語力の向上が図れているため、継続して実施する。   | C         | 幼児期から、外国語活動や外国語に触れ合う機会や使用する機会があることで、コミュニケーション能力を育成し、異文化に対する理解を深める場を提供できている。しかし、英語検定試験の実施方法に改善の必要があるため、見直しの上、事業継続していく。             |
|                   |                | 小学校外国語教育推進事業  | 学校教育課 | 2,318,694 | 16,480,200 | 18,798,894 | B    | B   | B   | B     | B   | A  | B        | 園児・児童の語学力やコミュニケーション能力を育成するとともに、異文化に対する理解を深め、英語力の向上が図れているため、継続して実施する。   | B         | 小学校低学年の時期から、外国語活動や外国語を通じた実践的なコミュニケーションをとる機会があることで、英語への興味や関心を育み、異文化に対する理解を深めることができている。   |
|                   | 豊かな心を育成する      | 小学校体験活動事業     | 学校教育課 | 814,386   | 6,970,000  | 7,784,386  | B    | B   | B   | B     | B   | A  | B        | 集団活動や地域の人々との交流、自然、社会、芸術文化に触れる体験など、児童の発達段階に応じた体系的な体験教育の推進を図っており、豊かな心の育成に必要であるため、継続して実施する。   | B         | 新型コロナウイルス感染症の影響により、規模の縮小などありながらも事業は実施できた。今後もコロナ禍における事業の在り方、効果的な実施方法を検討しながら、実施していきたい。  |
|                   |                | 心豊かな体験活動推進事業  | 学校教育課 | 814,386   | 1,797,680  | 2,612,066  | B    | B   | B   | B     | B   | A  | B        | トライやる・ウィーク事業等、地域人材を活かした幅広い体験学習を通して、生徒の自尊感情、他人への思いやり、ふるさとを愛する心を醸成しており、豊かな心の育成が図れているため、継続して実施する。   | C         | 新型コロナウイルス感染症の影響により、参加事業所が減少し、希望職種を体験できなかった生徒がいたため、目標値の達成ができなかった。今後はコロナ禍での効果的な実施方法を検討し、事業所の確保を確実にしながら、事業を継続していき、様々な社会体験の機会をつくっていく。 |

| 基本施策              | 取り組み事項         | 事務事業名         | 担当課名    | 令和3年度      |             |             | 評価項目 |     |     |       |     | 総合 | 施策からみた評価 |   | 事業単独でみた評価 |  |
|-------------------|----------------|---------------|---------|------------|-------------|-------------|------|-----|-----|-------|-----|----|----------|---|-----------|--|
|                   |                |               |         | 人件費        | 事業費         | 支出合計        | 妥当性  | 有効性 | 効率性 | 改革・改善 | 透明性 |    | 方向性      | 所見  | 方向性       | 所見   |
| 知・徳・体の調和のとれた人材の育成 | 豊かな心を育成する      | 創意ある学校づくり推進事業 | 学校教育課   | 950,117    | 2,005,000   | 2,955,117   | B    | B   | B   | B     | B   | A  | B        | 校区の特色を活かした授業の実施は、豊かな心を育成するために有効と考えられるので継続する。ただし、平成26年から事業を開始し、平成29年の見直しから5年を経過した中で、ICTの活用など多様化するニーズに対応できるよう、より有効な進め方を検討していく必要がある。 | B         | 身近な市内学校間での合同授業や体験活動、Web会議システムを活用した交流など「多様な学びの場の創造」や、地域の伝統文化等を継承・発展させるため、世代を超えた地域での交流を図るなどの「ふるさと教育の推進」を行い、創造工夫された体系的な教育活動の推進と、ふるさとを愛し次代を担う人材の育成に貢献した。         |
|                   |                | 芸術文化活動振興事業    | 学校教育課   | 135,731    | 0           | 135,731     | B    | B   | B   | B     | B   | A  | B        | 令和3年度対象者がいなかったが、児童・生徒の文化活動の振興と向上を図るために、継続して実施する。  | C         | 事業の周知の徹底および体制について整備を万全に行っているが、対象者がいないため、事業の実施方法を検討し、継続していく。  |
|                   |                | 人権教育事業        | 人権教育推進室 | 12,170,014 | 2,233,583   | 14,403,597  | B    | B   | B   | B     | B   | A  | B        | 教職員に向けた人権教育の実践についての研修機会の充実や子どもの発達段階と取り巻く状況に対応した取組みの継続に努める。  | B         | 新型コロナウイルス感染症の影響により、予定通りの実施ができない事業もあったが、内容を変更したり代替えの取組を実施することで、概ね予定通り進捗している。学校園の人権教育の推進に向け、情報発信、指導助言、研修の場の設定など教職員への支援を充実させる。人権教育を核にした道徳教育の系統的な推進に向け、研修を充実させる。 |
|                   | 健やかな体を育成する     | 学校給食運営事業      | 学校教育課   | 98,954,301 | 118,373,635 | 217,327,936 | A    | B   | B   | B     | A   | A  | B        | 幼稚園から栄養バランスのとれた学校給食を無料で提供することで、学校給食を食育の「生きた教材」として活用することで、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけさせ、健やかな体を育成することができているため、継続して実施する。                 | B         | 多くの地場産物を給食に取り入れることにより、食育の推進を図り、こんだてでわかりやすく表示したり、「給食だより」で特集を組むことで、家庭や地域と連携しながら食育に取り組むことができた。新型コロナウイルス感染症の影響により、物資単価の高騰があるが、安定した給食を実施できるよう努力していく。              |
|                   |                | クラブ活動運営事業     | 学校教育課   | 950,117    | 1,890,600   | 2,840,717   | A    | A   | B   | B     | A   | A  | B        | 部活動を通して、体力の増進、協調性、想像力の高揚を図り、部活動指導員を配置し、顧問の負担軽減と指導の充実を図る事ができているが、今後クラブ活動の地域移行に関する検討が必要である。   | B         | 部活加入率について、少子化により部員数の減少が続く中で、適正かつ持続可能な運営体制について検討し、安定した部活動運営を実現するために、専門的な知識・技能を有する外部人材を継続的に確保する必要がある。  |
|                   |                | 学校体育振興事業      | 学校教育課   | 1,794,076  | 3,919,023   | 5,713,099   | B    | B   | B   | B     | A   | A  | B        | 学校における児童生徒の体力・運動能力向上のために、校内マラソン大会や泳力検定、運動部活動の体育大会への参加等の取り組みを行っており、継続した事業実施が必要である。   | B         | 中学校総合体育大会の円滑な運営や、各種大会への参加への支援により、運動のしやすい環境づくりを行っており、子どもたちの体力向上を図れている。  |
|                   | 学びを支える体制の充実を図る | 適応教室事業        | 学校教育課   | 5,039,040  | 230,787     | 5,269,827   | A    | B   | B   | B     | B   | A  | B        | 不登校対策の施設として適応教室「コスモス教室」が、個々の実態に即した学校生活への適応支援を行っており、学校への復帰や社会的自立に向けて本事業が必要であるため、継続して実施する。  | B         | 一人一人の特性や家庭環境を考慮し、学校への復帰、社会的な自立に向けて適切な支援を行うことが必要であり、子どもや保護者からの相談を受け、日々の学習やふれあい教室への参加により自己肯定感を高め学校復帰、社会的自立を図っている。  |
|                   |                | 相生っ子ががやき顕彰事業  | 学校教育課   | 285,035    | 4,563       | 289,598     | B    | B   | B   | B     | A   | A  | B        | 権威ある大会等において成績が顕著な中学生以下の者に相生っ子ががやき顕彰を贈呈することで、児童生徒のスポーツや文化芸術に親しむ心の向上を図っており、継続した事業実施が必要である。  | C         | 表彰対象者の把握のため、学校や他課との連携の方法を検討しながら、事業を継続していく。   |

| 基本施策              | 取り組み事項         | 事務事業名         | 担当課名  | 令和3年度     |           |           | 評価項目 |     |     |       |     | 総合 | 施策からみた評価 |   | 事業単独でみた評価 |   |
|-------------------|----------------|---------------|-------|-----------|-----------|-----------|------|-----|-----|-------|-----|----|----------|---|-----------|---|
|                   |                |               |       | 人件費       | 事業費       | 支出合計      | 妥当性  | 有効性 | 効率性 | 改革・改善 | 透明性 |    | 方向性      | 所見  | 方向性       | 所見  |
| 知・徳・体の調和のとれた人材の育成 | 学びを支える体制の充実を図る | 教育研究所運営事業     | 学校教育課 | 2,523,638 | 992,980   | 3,516,618 | B    | B   | B   | B     | B   | A  | B        | 教職員の資質と実践的指導力の向上のため、教職員の経験に応じた各種研修講座を実施し、授業実践に活かしており、学びを支える体制の充実を図っている。 | B         | 研修の受講内容や研究部会での内容を、日々の授業に活用することができている。コロナ禍での開催になるので、十分な対策をしながら、オンラインも活用し、今後も研修や研究部会を実施していく。                                      |
|                   |                | 相生市小中一貫教育推進事業 | 学校教育課 | 1,221,580 | 0         | 1,221,580 | B    | B   | B   | B     | B   | A  | B        | 令和3年度は新型コロナウイルス感染症のため、研究会等は中止となったが、幼小中が一貫性を持った教育を推進するためには本事業は必要である。     | C         | 新型コロナウイルス感染症のため、視察は中止となったが、中学校区の連携は進める事ができた。教育課題に適切に対応し、充実した教育活動を展開するため、幼稚園から中学校まで12年間を見通した体系的な取り組みは必要であるため、改善方法を検討しながら、継続していく。 |
|                   |                | 青少年健全育成活動事業   | 学校教育課 | 4,716,671 | 3,976,098 | 8,692,769 | B    | B   | B   | B     | B   | A  | B        | 青少年の問題行動の未然防止や不審者等からの子どもの見守りを行うことで、青少年の健全な育成を図っており、継続して実施する。            | B         | コロナ禍でも補導活動を行い、補導委員についても幅広い地域や分野の委員を選任しており、青少年の健全育成に努めている。   |

(2) 誰もが楽しく学べるまちづくり

| 基本施策      | 取り組み事項     | 事務事業名         | 担当課名  | 令和3年度      |            |            | 評価項目 |     |     |       |     | 総合 | 施策からみた評価 |   | 事業単独でみた評価 |  |
|-----------|------------|---------------|-------|------------|------------|------------|------|-----|-----|-------|-----|----|----------|---|-----------|--|
|           |            |               |       | 人件費        | 事業費        | 支出合計       | 妥当性  | 有効性 | 効率性 | 改革・改善 | 透明性 |    | 方向性      | 所見  | 方向性       | 所見   |
| 社会教育環境の充実 | 文化芸術の振興を図る | 文化振興補助金事業     | 生涯学習課 | 610,790    | 622,000    | 1,232,790  | A    | A   | B   | B     | B   | A  | B        | 引き続き、市民の自主的な文化活動を支援するために、相生市文化協会への運営補助を行い、団体の安定的な活動を支援するとともに、芸術文化活動助成事業により個人及びグループの発表の機会の充実を支援する。 | A         | 事業の効果もあり、加入団体数は増えている。しかし、各団体の会員数が減少傾向となっているため、今後も事業を拡大できるよう努めていく必要がある。     |
|           |            | スポーツ・文化芸術顕彰事業 | 生涯学習課 | 203,596    | 76,000     | 279,596    | A    | B   | B   | B     | B   | A  | B        | 引き続き、個人や団体の優れた取り組みに対し顕彰を行い、市民の文化芸術活動への関心を高める。   | B         | 今後も継続し、文化活動を行う者の一目標としていく。  |
|           |            | 文化振興事業        | 生涯学習課 | 5,677,632  | 2,494,717  | 8,172,349  | A    | B   | A   | B     | A   | A  | C        | 市民の創造性や豊かな感性をを育むことを目的に文化祭及び美術展の開催する。文化の担い手である市民の、多種多様な文化芸術活動の活性化、文化意識の向上のためには発表の場の提供等の支援は不可欠である。  | C         | 現状の事業の内容充実を図り、参加意欲を高め、より参加者や来場者にとって魅力のある事業とするとともに、市民に対して情報提供を行っていく。        |
|           |            | 相生市文化会館管理運営事業 | 生涯学習課 | 16,177,125 | 80,330,734 | 96,507,859 | A    | B   | B   | A     | B   | A  | B        | 鑑賞と発表の両面から幅広い世代を対象に自主事業を行い、市民が文化芸術に触れる機会を提供する。また、修繕計画に基づく計画的な施設の維持修繕と、市民ニーズに応じた機能の充実を図る。          | B         | コロナ禍に対応した会館運営を継続していくとともに、中長期修繕計画に基づいた会館設備の更新を行うことで、利用者にとって安全・安心な会館を目指していく。 |

| 基本施策      | 取り組み事項      | 事務事業名         | 担当課名    | 令和3年度      |            |            | 評価項目 |     |     |       |     | 総合 | 施策からみた評価 |  | 事業単独でみた評価 |   |
|-----------|-------------|---------------|---------|------------|------------|------------|------|-----|-----|-------|-----|----|----------|--|-----------|---|
|           |             |               |         | 人件費        | 事業費        | 支出合計       | 妥当性  | 有効性 | 効率性 | 改革・改善 | 透明性 |    | 方向性      | 所見   | 方向性       | 所見  |
| 社会教育環境の充実 | 文化芸術の振興を図る  | 文化財事業         | 生涯学習課   | 2,238,207  | 1,665,405  | 3,903,612  | A    | B   | B   | A     | B   | A  | A        | 学芸員の専門知識を活かし、市内に残された豊かな歴史文化遺産の適切な整理・保存・活用、市指定文化財の登録に取り組む。                                | A         | 特別展や歴史講座を開催し、市民がふるさと相生の歴史文化に理解と愛着を深め、ふるさと相生への愛着を育むことができるよう努める。  |
|           |             | 資料館管理事業       | 生涯学習課   | 6,472,681  | 3,139,400  | 9,612,081  | A    | A   | B   | A     | B   | A  | B        | 施設の計画的な維持修繕を行うとともに、相生市の歴史・美術・文芸作品等に関する資料の収集、展示に努める。                                      | A         | 施設の計画的な維持修繕を行うとともに展示資料の適切な保存ができる環境を整えることで、郷土の歴史文化の啓発の充実を図る。   |
|           |             | スポーツ・文化芸術顕彰事業 | 体育振興課   | 1,764,504  | 0          | 1,764,504  | A    | A   | A   | B     | A   | A  | B        | 功績に相応した顕彰を贈呈していく。競技スポーツに取り組む人の努力にこたえる場がなくなる。   | B         | 功績に相応した顕彰を贈呈していく。   |
|           | 人権啓発活動を推進する | 人権啓発事業        | 人権教育推進室 | 7,035,968  | 4,904,251  | 11,940,219 | B    | B   | B   | B     | B   | A  | C        | 人権問題が多様化・複雑化する中で、新たな人権問題や身近な人権問題について市民が学ぶ機会を提供することは行政の責務であり、今後も関係課室と連携し、啓発活動を推進していく。     | C         | 新型コロナウイルス感染症の影響で、参加団体・参加人数ともに、令和2年度は、急激に減少した。令和3年度は、徐々に戻りつつあった年であり、令和4年度は、より一層事業の充実を図り、市民の人権意識の醸成に努めたい。 |
|           | 生涯学習環境をつくる  | 公民館活動事業       | 生涯学習課   | 10,628,476 | 4,888,433  | 15,516,909 | A    | A   | A   | B     | A   | A  | C        | 地域における学習活動の拠点として、市民のライフステージやニーズに応じた事業を行う。  | C         | 地域に対し公民館が募集している講座等をPRし、住民の文化活動を支えていく  |
|           |             | 多目的研修センター活動事業 | 生涯学習課   | 2,497,802  | 835,850    | 3,333,652  | A    | A   | B   | A     | A   | A  | C        | 地域における学習活動の拠点として、市民のライフステージやニーズに応じた事業を行う。  | C         | 地域住民の文化的な活動を支援するため拡大していく必要がある   |
|           |             | 図書館運営管理事業     | 生涯学習課   | 1,764,504  | 69,293,996 | 71,058,500 | A    | A   | B   | A     | A   | A  | B        | 市立図書館としての役割を基本とし、指定管理制度による民間企業のノウハウを活かしたサービスの提供を行うとともに、適切な維持管理を行い、安心して読書活動ができる環境の維持に努める。 | C         | 市民の文化活動に貢献するため拡大の方向性で行くことが妥当である   |
|           |             | 高齢者教育事業       | 生涯学習課   | 2,056,329  | 1,199,142  | 3,255,471  | A    | B   | A   | B     | B   | A  | C        | 新たな学びの機会を通じて自己を高めるだけでなく、地域社会の一員として豊かな知識や経験を活かせるような取り組みが必要。                               | B         | 高齢者の多様な学習活動、スポーツ、レクリエーション活動などの充実を図る。  |

| 基本施策      | 取り組み事項          | 事務事業名            | 担当課名  | 令和3年度     |            |            | 評価項目 |     |     |       |     | 総合 | 施策からみた評価 |  | 事業単独でみた評価 |   |
|-----------|-----------------|------------------|-------|-----------|------------|------------|------|-----|-----|-------|-----|----|----------|--|-----------|---|
|           |                 |                  |       | 人件費       | 事業費        | 支出合計       | 妥当性  | 有効性 | 効率性 | 改革・改善 | 透明性 |    | 方向性      | 所見   | 方向性       | 所見  |
| 社会教育環境の充実 | スポーツ活動の支援・充実を図る | 市民体育館管理運営事業      | 体育振興課 | 2,462,332 | 15,868,965 | 18,331,297 | B    | B   | A   | C     | B   | B  | B        | 施設の良好な状態を保ちつつ、安全で有効に利用していただけるよう意識をもって管理していく。代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。              | B         | 施設の良好な状態を保ちつつ、安全で有効に利用していただけるよう意識をもって管理していく。  |
|           |                 | 市民プール管理運営事業      | 体育振興課 | 542,924   | 6,200,000  | 6,742,924  | B    | B   | A   | C     | B   | B  | B        | 指定管理者と連携をとりながら今後も適正管理に努めていく。学校授業としての利用ができなくなる。   | B         | 指定管理者と連携をとりながら今後も適正管理に努めていく。  |
|           |                 | 市民グラウンド管理運営事業    | 体育振興課 | 2,541,735 | 3,896,321  | 6,438,056  | B    | B   | A   | C     | B   | B  | B        | 使用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の節減に努める。代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。                      | B         | 使用実態に即した管理運営を行い、良好な状態を維持し事業費の節減に努める。  |
|           |                 | 温水プール管理運営事業      | 体育振興課 | 2,035,966 | 30,651,099 | 32,687,065 | B    | B   | A   | C     | B   | B  | B        | 異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理運営を進める。代替施設がないため、スポーツの場を提供できなくなり、健康維持の妨げとなる。        | B         | 異常の早期発見と指定管理者の専門的見地から市と連携し計画的な施設維持に努め、適正な管理を進める。  |
|           |                 | 社会体育振興事業         | 体育振興課 | 4,566,164 | 1,744,841  | 6,311,005  | A    | B   | B   | B     | B   | A  | B        | 市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開していく。事業委託料が大半を占めており、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。                       | B         | 市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開していく。  |
|           |                 | ジュニアスポーツ振興事業     | 体育振興課 | 4,458,598 | 538,740    | 4,997,338  | A    | B   | B   | B     | B   | A  | B        | 子ども達のスポーツへの関心が高まってきている。事業委託料のみであり、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。                                      | B         | 子ども達のスポーツへの関心が高まってきている。   |
|           |                 | レクリエーションスポーツ振興事業 | 体育振興課 | 5,521,373 | 2,411,164  | 7,932,537  | A    | B   | B   | B     | B   | A  | B        | 市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。事業委託料のみであり、各団体が独自予算で事業を行うことは困難である。 | B         | 市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしを図っていく。                                |
|           |                 | スポーツ教室事業         | 体育振興課 | 576,179   | 817,290    | 1,393,469  | B    | B   | A   | A     | B   | A  | B        | 当事業は費用対効果に優れた事業である。スポーツ人口の裾野の拡大や市民が気軽にスポーツに親しむ契機となるよう、当事業の継続が必要である。                            | B         | スポーツを気軽に楽しめる機会と場を通じて、健康及び体力の保持のみならず、自分もできるという経験から自信が生まれ、また、人と人の触れ合いから仲間意識や人の温かみを感じる機会が生まれる。 |

#### 4 第三者評価対象事業

##### (1) 評価対象事業 結果比較

| 事務事業名    | 担当課              | 行政改革<br>推進委員会    | 第三者<br>評価委員会     |
|----------|------------------|------------------|------------------|
| 文化振興事業   | 継続<br>(改善・見直しの上) | 継続<br>(現状のまま)    | 継続<br>(改善・見直しの上) |
| スポーツ教室事業 | 継続<br>(現状のまま)    | 継続<br>(改善・見直しの上) | 継続<br>(改善・見直しの上) |

##### (2) 第三者評価ヒアリング個別シート

| 事務事業名  | 文化振興事業   |   |  |
|--|--|---|--|
| 評価結果   |  |   |  |
| 施策からみた評価   | <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 現状のまま<br><input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 | <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直しの上<br><input type="checkbox"/> 廃止 |  |
| 事業単独でみた評価  | <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 現状のまま<br><input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 | <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直しの上<br><input type="checkbox"/> 廃止 |  |
| 【評価理由】   |  |   |  |
| <p>施策からみると、市民の文化活動発表の場は十分に提供できているといえるが、参加者だけでなく、より多くの市民に文化芸術に触れる機会を提供する事業とするべきである。また、本事業が施策の方針にある文化団体・市民グループの育成にどれだけ貢献するかを意識しながら事業に取り組むことが必要である。</p> <p>事業単独としては、本事業が市民全体のための事業であることを念頭におき、市がすべきことの目標を設定し、PDCAサイクルを回していくべきである。</p> |  |   |  |
| 意見・指摘事項  |  |   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の目的は、具体性のあるわかりやすい内容で記載すること。</li> <li>・評価指標「質の活動指標」は、目的に対して成果を図るものを設定すること。</li> </ul> <p>(新規出展者数が考えられる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供を工夫し、市民参加の拡大を図ること。</li> </ul>    |  |   |  |

|  |   |
|--|---|
| 事務事業名  | スポーツ教室事業  |
| 評価結果   |   |
| 施策からみた評価   | <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 現状のまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直しの上 )<br><input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 |
| 事業単独でみた評価  | <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 現状のまま <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直しの上 )<br><input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 |
| <p><b>【評価理由】</b></p> <p>施策から見ると、施策の方針にある誰もがライフステージにあわせてスポーツを楽しむという目的に対し、初心者がスポーツに取り組むきっかけとなる意義のある事業である。今後は、施策内の事業連携を行ったうえで、教室参加をきっかけに、リーダーの育成にもつながるような事業の見直しも必要である。</p> <p>事業単独としては、新規教室の開設により参加する世代の広がりもあったことから、今後も誰もがライフステージに合わせてスポーツを取り入れ、楽しく学べるまちを目指し、より幅広く市民が参加できるよう、新しいスポーツをメニューに追加するなどニーズを把握し、事業内容を検討する必要がある。</p> |   |
| 意見・指摘事項  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価指標「質の活動指標」は、目的に対して成果を図るものを設定すること。(リーダーの育成人数、健康増進度合い、年代別の参加上昇率が考えられる。)</li> <li>・アンケート等により、参加者に対して意見収集を行い、事業内容に反映すること。</li> <li>・新規参加者へのアプローチを検討すること。</li> </ul>  |   |